学校法人相愛学園

理事長　相 田 芳 久 殿

令和４年度

自己点検・評価　報告書

令和５年２月２０日

学校法人相愛学園　焼津豊田幼稚園

園長　佐野正子

理事長 決　済

令和４年度の園運営についての自己評価を実施しましたので、以下にまとめたものを報告書として提出いたします。

今年度は、コロナ禍を意識しながらも楽しい園生活が送れるよう、教育活動や環境構成の工夫・改善に努めてまいりました。幼児の育ちと照らし合わせながら教育活動や環境構成の工夫・改善をしていく中で、幼児にとって意味のある生活ができるよう取り組んできたことは、多くの収穫を得ることができたのではないかと考えております

また、昨年度より始めた園内研修をよりステップアップさせる為、研修テーマ『主体的な子ども姿を目指して』を掲げ、様々な活動や遊び、生活の中から主体的な子どもの姿を見つけ育てていくことを主として取り組んでまいりました。事例を集め、その事例を基にグループワークをし検討を重ねてきたことは、少しずつではありますが保育技術や保育の質の向上に繋がっていっているように感じています。

具体的な教職員の自己評価においては、項目ごと各自で振り返りを行ったものをまとめました。自身の課題についてチャレンジできた部分、まだまだ努力や改善を要する部分が明確になり、教職員が課題に向けて努力する姿を確認できたことは収穫であると考えます。今後も自身の課題克服に向けて真摯に取り組みを進めることを求めてまいりたいと考えます。

次年度は大きな研修を控えており、『主体的な子どもの姿を目指して』という研修テーマを基軸とし園内研修を深めてまいります。子ども達と共に、楽しく充実した一年となるよう努力していく所存です。

以下、園長による自己評価、教職員による自己評価等について、自己点検・評価結果の報告として報告します。

令和５年２月２０日

令和4年度　自己評価書　－焼津豊田幼稚園－

評価分類			内　容	チェック
Ⅰ 教育内容	1	保育の計画	○建学の精神―に基づき教育理念や教育目標を明文化する	○
			○教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成する	○
			○社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行う	○
			○幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行う	○
	2	教職員体制の充実	○教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行う	○
			○指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくる	○
			○教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保する	○
	3	指導の在り方	○環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成する	○
			○幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成する	○
			○幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整える	○
			○幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行う	○
			○教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行う	○
			○遊びを通しての総合的な指導を行う	○
			○障がいのある幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をする	○
			○子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図る	△
	4	研修や研究	○教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行う	○
			○教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保する	○
			○個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとる	○
Ⅱ 地域の幼児教育センターとしての役割	1	子育ての支援	○子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施する	△
			○さまざまな教育に関する相談を受け入れる	○
			○子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整える	○
	2	預かり保育	○教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行う	○
			○預かり保育を担当する教師の体制を整える	○
Ⅲ 安全管理	1	外部侵入者・来訪者などに対する安全対策	○幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整える	○

	2	施設・設備・園児に対する安全対策	○地震などの自然災害に対する防災対策を整える	○
			○幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努める	○
			○消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施する	○
			○防火管理者を定めて防火管理を行う	○
			○設備や遊具の点検を定期的に行う	○
	3	衛生管理	○幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努める	○
			○学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施する	○
			○学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施する	○
			○学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応する	○
			○学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置く	○
Ⅳ 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	○幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行う	○
			○幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努める	○
	2	教職員の雇用条件	○労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示する	○
			○私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努める	○
	3	就業規則に基づく労務管理	○労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出る	○
	4	教職員の健康管理	○学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施する	○
Ⅴ 財務管理	1	予算作成及び予算管理	○学校法人会計基準に基づき、予算書を作成する	○
			○月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得る	○
	2	決算	○学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成する	○
			○決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出る	○
	3	納付金算定	○園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにする	○
	4	物品購入	○教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理する	○
Ⅵ 評価と情報の公開	1	評価	○重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行う	○
			○自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめる	○
			○学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行う	○
	2	情報の公開	○幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供する	○
			○公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにする	○
			○自己評価の結果を公表する	○
			○学校関係者評価の結果を公表する	○
			○幼稚園幼児指導要録の写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図る	○

― 令和４年度　教職員の自己評価内容について ―

本年度も年度末に園内において教職員対象の自己評価を実施した。あらかじめ設定した評価項目にしたがっての振り返りを行なった。その中で、個々の課題の掘り起こしにつなげ、評価・改善策を考えることとした。今年度は４項目について自己の保育を振り返り記述したものをまとめた。以下の通りである。

１．研修テーマ『主体的な子どもの姿を目指して』について
　①「自身の取り組みを振り返っての考察（成果と課題）
　②　研修テーマに沿ったグループワークについての考察（成果と課題）
　③ 次年度の研修に向けての手立て
２．「保護者との連携」について（成果と課題）

以下、複数の教職員よりあげられた次年度への自己課題についてまとめてみた。

① 自身の取り組みを振り返って

（成果）

・普段の遊びでもじっくりと子ども達の姿を見ることで、その子の思いや考え方等がわかり子どもの気持ちに寄り添った声掛けや援助をすることができた。
・毎月事例を書いているので、いろいろな活動を取り上げていくようになり、様々な内容について話し合うことができた。
・１年を通して同じテーマで取り組めたことで、子ども達の成長やまだまだ経験不足でもある点を自分なりにじっくり見つめなおす機会となった。今まで見逃していたことかもしれないような遊びにも目を向け、自由遊びの中でも子ども達にとって様々な成長できる場面があることに改めて気付かされた。
・子どもの表面的な姿だけでなく子どもの声に耳を傾けることをより心掛けることで、一人一人の思いや友達との関わりがよりわかるようになってきた。また、それに対する援助も慎重に考え言葉選びにも配慮するようになった。
・主体的とはどういうことか、活動の中で考え頭に入れたうえで子どもの姿を見るようになった。まだ不十分ではあるが考察する習慣もついたように感じる。

（課題）

・いろいろな面で気付きはあったものの、自分の忙しさから子どもとしっかり関わりを持てずにいた時もあり、余裕を持った丁寧な関わりが必要あった。
・子ども達に求めすぎてしまうところがあった。個々に合わせていきながら無理なく理想の姿に近づけていけるかを考えていきたい。

・研修テーマにあった子どもの姿の切り取り方をもっと勉強したい。
・時期によって子どもの活動の方向性を保育者が意図的にうながしてしまったこともあった。（きっかけづくりとして）

② 研修テーマに沿ったグループワークについて

（成果）
・他学年がどんな取り組みをしているのか、子ども達がどんな様子であるかを知る機会となり、戸外での自由遊びの時間の関わりに生かすことができた。
・学年でまとめをすることで振り返りにもなり、学年での話し合いがスムーズになった。
・グループワークを通して、自分の思いを言葉にして伝えること、発言することに慣れていきコミュニケーションを取りやすくなった。
・いろいろな先生方の考えや見方を知り、自らの保育に生かしていこうとすることに繋がっていったのは良かった。
・グループワークにより、自分の声掛けや介入方法について良い方法を学んだり、子ども達の遊びを発展させていくためにどんな援助をしたら良いかを学ぶことができた。
・自分以外の保育者から見た子ども達の成長や課題を知ることができ、課題に向けて保育に取り入れることもできた。

（課題）
・事例のピックアップの仕方や考察の捉え方等、保育者によって違ってしまっているところが少し気になる。
・事例での表面的な話はたくさんできたが、「主体的な子ども･･･」という研修テーマとどのように繋がっていたのか、またどうしたらそのような姿に繋がっていくのか等深い話まですることがなかなかできなかった。
・認め合う（重くならない）雰囲気が大事であるが上手くいかなかったり、グループワーク後の発表のまとめがなかなか難しかった。

③ 次年度の研修に向けての手立て

・子ども達のその時の様子をしっかり見取り、どんな対応が必要か常に考えていく気持ちを持っていきたい。
・子どもの興味をどのように保育に取り入れて保育者主導が多いのではないか。
・今年度の研修で出た子どもの成果課題、保育者自身の成果課題をあげて課題を克服できるため手立てを考えていく。
・保育に対する自分の思いをしっかり持ちながら、また保育者同士の共に学ぶ姿勢を大切にしていきたい。

「保護者との連携」について

・お迎えの保護者の方とは日々の生活の様子について話すことができるが、バス通園の保護者の方とはゆっくり話す機会が少ないため、電話や会った時、また連絡帳等でできるだけ生活の様子などを話すよう心掛けた。
・子ども達の成長した姿や頑張っている姿を保護者に伝えていくことで、保護者の方が園での様子を少しでも感じ取っていただけて、子どもとコミュニケーションをとる機会が増えたようなので良かった。
・対面で話す機会を作ることは勿論だが、電話や連絡帳等も活用して対応するように心掛けた。
・保護者の表情を観察し、聞きたいことや不安に思うことをくみ取れるよう落ち着いた対応を意識した。
・コロナ禍で保護者との関わりが減少しているので、こちらから積極的に関わることで少しは安心していただけるのかなという思いを持ちながら意識していきたい。
・裏門近くの掲示板に子どもの遊びの様子を学年ごとまとめ掲示したり、クラスだよりを充実させるように努力した。もっと普段の子どもの様子を伝えていけるよう考えたい。

全体的な分析

「主体的な子どもの姿を目指して…」というテーマを掲げ、事例集めから始まりそれを持ち寄りグループワークで検討する、という一連の流れで進めてきた研修。
幼稚園教諭としての経験値が様々な中での研修はなかなか難しい面もあったが、各自が研修に向けて真摯に向き合い努力を積んだ一年であったということである。年代やポジションによって多少の取り組み方の差はあるものの、それぞれに子ども達の成長を願い取り組んでいくことの大切さを感じ取ることができた。始まったばかりの研修であるが、今年度の経験をもとに次年度に繋がっていけるようまとめをして土台作り。それをもとに次のステップに進んで少しずつ保育の質が向上していけるよう努力していきたい。
また、級外教職員もそれぞれの経験を活かし、子ども一人一人の育ちへの援助、若い年代への励まし、保護者との信頼関係の構築等に心を砕いてきた様子を感じ取ることができ、ある程度好ましいサイクルで動いているのではないかと評価した。多方面で良きサポーターとして心強い存在となっている。

令和４年度、スタートは切れたもののコロナ禍ということには変わりなく、当初の予定を変更せざるを得ない時期もあり、その都度保護者の皆様にご協力を仰ぎながら対応してきた。保護者の皆様のご理解に感謝したい。次年度はコロナも収束が見え始めているので、落ち着いた園生活が送れるよう計画していきたい。

【　園内施設（ 建物・構築物関係 ）の保全状況　】

1．　園庭緑化関係事業

➡園庭の芝関係の事業として、時期に合わせて肥料を散布、冬芝の種まきなどを実施した。また、スプリンクラーなどの修理も実施した。

2．保育室床補修

3．南棟西側自転車置き場の整備及び倉庫購入設置

4．園駐車場整備（区画にライン・出入り口の表示）

5．にこにこの木クッション材補修

6．裏門フェンス補修工事　➡　裏門の補修は完了。
フェンス補修については令和５年度

7．中央河川橋上屋根交換

6．花壇等整備

【　園内遊具の保全状況について　】

1．業者による遊具一斉点検（2/15）　➡　結果報告待ち

※月１回職員による一覧表に沿って目視点検を行っている。不良部分があった場合は報告し、素早く対応できるようにしている。

―年度末アンケート調査にご協力ください―

設問1　お子様の学年は？　　1．満３歳児　2．　年少　3．年中　　4．年長
（お子様が２人の場合は２学年に○印をお願いします。）

設問2　一年間のお子様の様子をどのように感じておられますか？

1．満足している　　2．ある程度嬉しく感じる　　3．特別に感想はない

☆それはどんな場面で感じておられますか？

（　　）

設問3　一年間で印象に残ったお子様の表れがありましたか？

1．ある　　2．特にない

☆「ある」とお答えになった方にお尋ねします。それはどんなところですか？

（　　）

設問4　保育内容や園行事、園生活全般にわたってご意見、ご感想をご記入ください。
（教職員への要望等でも構いません。スペースが足りない場合は裏面にご記入ください。）

（　　）

ご協力、まことにありがとうございました。

締め切り２月１０日（金）

令和４年度　保護者アンケート実施結果についての考察

学校法人相愛学園　焼津豊田幼稚園

保護者の皆様にご協力いただいたアンケートがまとまりましたのでご報告いたします。

≪回収率≫

満３・年少	年中	年長
７４％	６５％	５９％

以下に、各設問について主な複数意見をまとめて報告します。

☆設問２については、ほとんどの方が『満足しているorある程度満足している』の評価でした。
設問３については、ほとんどの方が『ある』という評価でした。

自由記述欄では…

満３歳・満３・年少組共初めての集団生活ということもあり、基本的な生活習慣の確立、自分のことは自分でやろうとする姿、園生活を楽しんでいる様子、友達との関わり、言葉の成長などが多くあげられ日々成長している様子を感じているようだ。

年中組・集団生活でのマナーや礼儀等が身についてきたり、友達関係の広がり、苦手なことにも挑戦しようとする気持ちや頑張る姿等、意欲の面での成長が多くあげられていた。また、行動範囲の広がりや周りへの興味も広がっている様子、進級への期待も感じているようだ。

年長組・人との関わりにおける成長が多くあげられていた。（自分で考えて行動、目的意識を持つ、友達関係の深まりや協調性の育ち、年下の子への優しさ等）また、相手の話をしっかりと聞く、自分の思いや状況を順序立てて相手に伝える、言葉の成長…等も年長児らしい成長を実感しているようだ。

☆設問４について自由記述欄では…

本年も多くの建設的なご意見を頂戴しました。特にご意見の多かった点については下記に列記しました。早速来年度より改善に向けた対応を考えてまいりたいと思っております。

○手紙の配布回数・内容について

➡手紙に関しては毎年の課題でした。昨年度より始めた写真入りクラスだよりをメールに添付し配信することはおおむね好評でした。しかし、メール配信が可能になったのにあまり生かせていないというご意見、手紙の内容によっては紙媒体の方が良いものもあるのでは…というご意見もあました。次年度はお便りのデジタル化の推進、内容を吟味し方向性の明確化（メール配信にするもの・紙媒体にするものの線引き）を心掛けていきたいと思います。またアンケートのとり方についてご意見もいただいていますので検討していきたいと思います。

○You Tube を利用した動画配信について

➡ふれあいの日が実施できなかったので動画配信で取り組みましたが、今年度は大変時間がかかり保護者の皆様をお待たせしてしまい申し訳ございませんでした。（なかなかクラス全員が揃わなかった為）普段の保育やクリスマス会などの行事も見たい…というご意見もありましたが、問題も多く難しいのが現状です。
動画配信はご家族皆さんで見ていただけるという利点はありますが、子どもが全員揃うこと、撮影技術や構成する時間等の問題点もあります。コロナが終息を迎えれば来園していただく機会を設け実際の子ども達の姿をご覧いただくことが一番だとは思います。次年度はその日が来ることを切に願います。

○園児の死亡事故、保育士の園児への虐待問題…等、子ども達の安全面を心配されるご意見について

➡園バス内での園児の死亡事故を受けて、当園も現地調査を受けました。（県内の園児バスがある園は全園対象です。）聞き取り調査と共に園バスに乗車する子ども達の様子も確認した上で、良好という判定をいただ

だきました。また、バス安全装置につきましても次年度設置予定です。今後も園バス運行委託会社と連携を深め、安全運行に努めてまいります。（バス運転手は委託会社からの派遣乗務員です。）

➡園児への虐待問題については多くのご意見をいただきました。

- コロナがあって先生方の負担が増えているのでは？
- 教職員の給与、休暇、休憩その他手当が十分か？足りないせいでストレスが発散されず子ども達に向かってしまうのでは？
- 人手不足で忙しくなっていませんか？
- もしかして豊田幼稚園にもそんなことがあるのだろうか？と考えてしまう。
- 子どもへの叱り方が教育から離れているのではと感じたことがある。
- 園児数が多いので安全面の配慮をお願いしたい。　…等

虐待を含め不適切保育のようなことが起こらないよう、襟を正していかなければなりません。子ども達に対しては勿論ですが、保護者の皆様にとってもより良い環境となるよう自身を振り返り気を付けていかなければならないと痛感しています。

○行事が天候不順で延期や変更が出るのは仕方がないが内容をよく検討をしてほしい。

➡今年度は年長児の活動が天候不順で変更が多く可哀想でしたが、子ども達に楽しんでもらえるよう年長組担任はいろいろ工夫して取り組みました。当初の予定より規模が小さくなってしまったり、近場になってしまったことは残念ですが、子ども達は遊びを楽しんでくれていました。代替え案を考える時、園から出掛けられる範囲の中に（バス利用でも）多くの子ども達を連れて遊びを楽しむことのできる場所がないことが悩みの一つであることはご理解いただきたいと思います。新しい場所も開拓しつつ代替え案については考えていきます。またご指摘のあった瀬戸川への川遊びの時の子ども達の荷物は、行き帰り共トラックで運んだことを申し添えます。

○担任に電話をする場合いつ頃がいいか

➡14：30降園の場合、歩きコース引き渡し終了後、14：50頃～16：30頃までが電話を取りやすい時間となります。但し、バスの子ども達の管理やこばと組の手伝いにまわることもあるので折り返しの電話になる場合もあることをご承知おきください。

○給食について(完食をしなければだめなのか)

➡完食しなければならないわけではありません。子ども達それぞれに好き嫌いもありますし、小食の子、時間がかかる子…と様々です。勿論完食できればその方が身体の成長には良いことですが、無理強いはしないようにどこまで頑張るか相談して食べています。おかずは量が決まっていますが、ご飯の大盛小盛は子ども達が自己申告することも多いです。（もちろん残っていればおかわりもできます。）

○説明が足りなかったり不案内に感じることがある

➡ここ数年ヒバリヤの依頼で、世界児童画コンクールに全園児絵を出品しています。その作品がヒバリヤに飾ってあったことを保護者の方よりの知らせでわかり急いでメール配信をしました。また、他の絵画展に出品した園児のご家庭向けにお知らせしていなかったこと等、多方面でいろいろな不手際があったことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

○こばと組について

➡以前に令和５年度より終了時間が１７：３０となる旨をお伝えしてありましたが、保護者様のご希望も多く令和５年度も引き続き１８：００終了となります。（配布済みの令和５年度こばと組についての手紙にてお知らせしてあります。）終了時間を遅くまで…というご意見には対応できかねますが、１８：００終了については令和６年度以降も保護者様のご希望に添えるよう努力していきたいと考えています。

➡おやつの取り扱いについてですが現在は取りやめています。おやつを復活してほしいという一部ご意見がありましたが、こばと組に入る子どもの中には、１時間こばとの子・クラブ終了後の子等もいる為、外遊び終

了後のおやつの時間が15：30過ぎ～16：00近くになってしまい、夕食に支障が出るのではないかという点。また、おやつを実施している頃、おやつの内容（種類について）あれもこれも避けてほしい、手作りはどうか？というような少し無理な意見が多く出たこと。おやつ代の中で賄えなくなったこと。･･･等、コロナ以外にも多々問題が出てきたこともありおやつの取り扱いはやめました。引き続き令和５年度もおやつは取り扱いません。ご了承ください。

➡こばと組保育室扉に貼ってあるお知らせについてのご意見をいただきました。内容や文言を吟味し皆様にわかり易く伝わりやすい内容となるよう、こばと担当者と検討していきます。

○欠席状況報告について

➡インフルエンザがはやり始める頃からここ数年欠席状況報告をしています。発熱などして小児科を受診すると幼稚園で何か流行していないか聞かれるので知りたい、という保護者様からのご意見から始めました。コロナ欠席者数がわからなければ意味がないというご意見もありました。以前園児がコロナに感染した時、保護者の中で犯人捜しのようなことが起こり心を痛めた保護者の方もいらっしゃいました。それ以来二度と誹謗中傷するようなことが起こらないようにコロナに関しては報告をしないことにしています。但し、５月にコロナもインフルエンザと同様に感染症区分第５類なった場合は報告をすることを考えています。

○その他

・創立記念日の鯛のお菓子を子どもが食べられる物にしてほしい。➡検討します。

・通園バスが交通事情などで遅れが出ている場合は連絡が欲しい。

➡バス乗務員と連絡を密にして連絡するようにしていきます。

・年間行事予定を出す時点で保護者の参加が必要かどうかわかると助かるのですが。

➡初めて幼稚園と関わる保護者様にとっては特にそうですね。どのようにわかり易く記すかを検討していきます。

・園指定の上靴が０、５ｃｍ刻みの販売にならないでしょうか。また汚れの落ち易い素材の物はありませんか？

➡今取り扱っている業者は１ｃｍ刻みしかなく、現在取り扱い業者を探していますので今しばらく検討時間をいただきたいと思います。

・制服の変更について

➡令和５年度入園児から制服が一部変更になります。新年中長児は今まで通りの制服となります。３年程移行期間となり制服が新旧混在しますのでご承知おきください。新年中長児で新しいデザインの体操服・ズボンも購入可能です。

・親子遠足を再開してほしい。

➡令和５年度の親子遠足（学年別となりますが）は実施の予定です。但し、雨天の場合出掛ける場所がないこと、保護者の方々のお仕事のこともあり雨天の場合は中止、再計画はありませんのでご承知おきください。コロナで取りやめていた行事も少しずつ再開できるよう計画していきます。

保育については、概ねご回答をいただいた皆様から一定のご評価を頂戴できました。園長を含め教職員への厳しいご意見もございました。ご意見を頂戴したことを真摯に受け止め頑張っていく所存でございます。いただいたご意見をすべて掲載・返答できず申し訳ございません。改善点は一つ一つ受け止めできることから進めてまいります。次年度に向けてよい反省材料をいただき、感謝申し上げます

令和５年度には、コロナウィルスが伝染病分類で第５類になると発表され、コロナと共存していく時代となっていきます。子ども達が主体的に活動できるよう、環境（人的・物的）を整え、成長を促せるような日々の積み重ねを大切に、教師一人一人が子どもに寄り添った保育ができるよう引き続き研鑽を積んでいきたいと考えております。

一年間のご理解とご支援、誠にありがとうございました。